

医療事故情報収集等事業 第20回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：平成21年10月～12月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

		平成21年			合計
		10月	11月	12月	
報告義務	報告件数	119	164	159	442
対象医療機関	報告医療機関数	138			
参加登録	報告件数	15	10	15	40
申請医療機関	報告医療機関数	28			
報告義務対象医療機関数		273	273	273	-
参加登録申請医療機関数		427	427	427	-

第20回報告書21～24頁参照

表2 事故の概要

事故の概要	平成21年10月～12月	
	件数	%
指示出し	8	1.8
薬剤	30	6.8
輸血	2	0.5
治療処置	113	25.6
医療用具等	39	8.8
医療機器	9	2.0
ドレーン、チューブ類	30	6.8
歯科医療用具	0	0.0
検査	11	2.5
療養上の世話	190	43.0
その他	49	11.1
合計	442	100.0

第20回報告書31頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：平成21年7月～9月に発生した事例)

1) 参加登録医療機関：定点医療機関数 232 施設, 定点外医療機関 978 施設

2) 報告件数 (第20回報告書55頁参照)

①総報告件数：62,945件 (報告医療機関数 314施設)

②分析対象：全般コード化情報 62,201件, 記述情報 3,199件

2. 医療事故情報等分析作業の現況

従来「共有すべき医療事故情報」として取り上げた事例に、さらに分析を加え、「個別のテーマの検討状況」の項目で取り上げています。今回の個別のテーマは下記の通りです。

- | | |
|--|----------------------|
| (1) 化学療法に関連した医療事故 | 【第20回報告書 73～82頁参照】 |
| (2) その他の薬剤に関連した医療事故 | 【第20回報告書 83～118頁参照】 |
| (3) 人工呼吸器に関連した医療事故 | 【第20回報告書 119～126頁参照】 |
| (4) 電気メス等に関連した医療事故 | 【第20回報告書 127～134頁参照】 |
| (5) B型肝炎母子感染防止対策の実施忘れ (HBワクチン接種等) | 【第20回報告書 135～139頁参照】 |
| (6) 凝固機能の管理にワーファリンカリウムを使用していた患者の梗塞及び出血 | 【第20回報告書 140～149頁参照】 |

3. 再発・類似事例の発生状況 (第20回報告書150～163頁参照)

これまで個別テーマや「共有すべき医療事故情報」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が発生したものを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例は下記の通りです。

- | | | |
|----------------------------------|----------------|----------------------|
| (1) 「製剤の総量と有効成分の量の間違い」 | (医療安全情報No. 9) | 【第20回報告書 152～154頁参照】 |
| (2) 「処方入力の際の単位間違い」 | (医療安全情報No. 23) | 【第20回報告書 155～156頁参照】 |
| (3) 「ガベキサートメシル酸塩使用時の血管外漏出」 | (医療安全情報No. 33) | 【第20回報告書 157～159頁参照】 |
| (4) 共有すべき医療事故情報「電話による情報伝達間違い」 | (第10回報告書) | 【第20回報告書 160～161頁参照】 |
| (5) 共有すべき医療事故情報「セントラルモニター受信患者違い」 | (第16回報告書) | 【第20回報告書 162～163頁参照】 |

*詳細につきましては、第20回報告書及び本財団のホームページ (<http://www.med-safe.jp>) をご覧ください。